



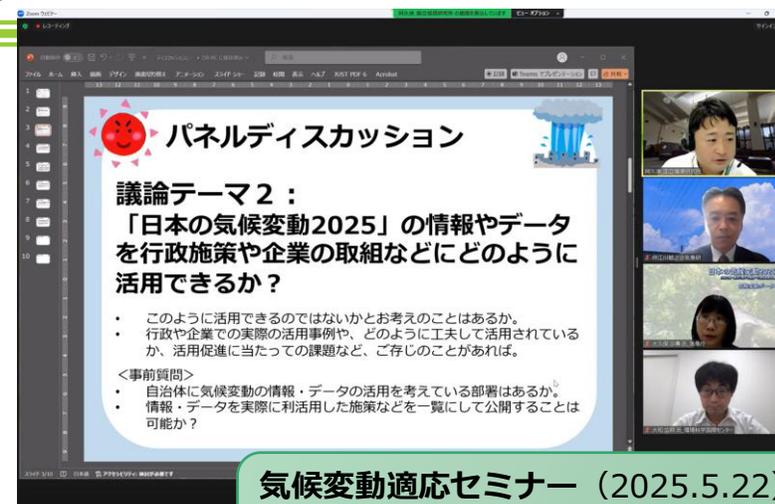
評価検討部会からの報告

■ 地方公共団体向けの説明会等

- ・ 2024年度に気象庁が聞き取り調査を行った地方公共団体等（9か所）を再訪するなどして実施
- ・ 国立環境研究所の気候変動適応センターと気象庁で企画段階から連携し、地方公共団体や企業の担当者向けの気候変動適応セミナーを共催

■ 地方公共団体からの反応

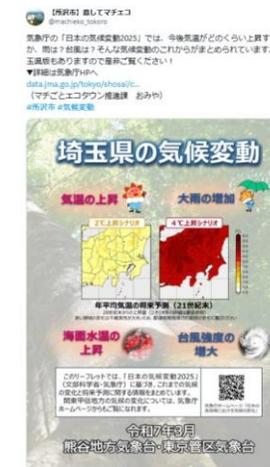
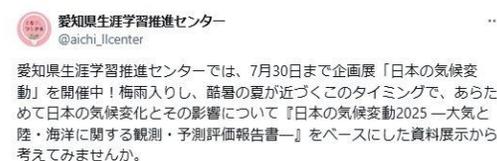
- ・ 上記の説明・意見交換では以下の反応があった。
 - ・ 適応計画等の各種計画、普及啓発に利用したい
 - ・ 特に都道府県別の情報が有用
 - ・ 職員が本編全体を通して読む時間はない（逆引きで利用）
 - ・ 生活への影響まで記載されないと、市民向けには使いにくい
 - ・ 極端現象の将来予測に関する質問
- ・ 利活用事例（WEBサイトやSNS等）
 - ・ 地域気候変動適応センターや企業等による、ウェブサイトやSNS等での「日本の気候変動2025」紹介の発信も見られた。
 - ・ 公的機関から気象庁地方部局等へ、概要版や都道府県別リーフレットを用いた展示等への協力依頼も受けた。



参加者多数

気候変動適応セミナー（2025.5.22）

- ✓ 地域気候変動適応センターや企業の担当者ら、400名以上が参加
- ✓ 報告書の主な知見を気象庁本庁から、科学的な背景を気象研究所から説明
- ✓ 国立環境研究所及び埼玉県気候変動適応センターからの登壇者と気象庁からの登壇者とで、気候変動情報の活用について意見交換





地域気候変動適応センターにおける活用等

■地域気候変動適応センターの意見交換会（2025/12/17実施：国環研主催）にてヒアリング

●「気候変動2025」利活用事例

- ・市町村の適応計画改訂時に最新の情報として紹介している。
- ・講演会等でよく使っている。とてもわかりやすい。
- ・適応センターのHPに図を使っている。
- ・協議会の場で説明資料として活用。
企業（工場）とのリスクコミュニケーションに活用。
- ・作成した気候変動影響のパンフレットにて活用。
- ・情報誌のネタ調べとしてよく見る。紙面にも図を使用。
- ・県民向けの熱中症セミナーの場で、都道府県別リーフレットを配布。

●今後の利活用の予定

- ・市町村への説明を予定しており、そこで使いたい。
- ・R8年度に県民向けフォーラムあり。使っていきたい。

●「気候変動2025」に対する反応（感想）

〈好評価〉

- ・説明が難しくなくちょうどよい。
- ・概要版（パワポ）やHPの画像が使いやすい。またデータがセットになっているのも有難い。

〈課題〉

- ・都道府県別リーフレットの図はPDFなのでプレゼンで使うときに少し修正する必要がある。
- ・排出シナリオがSSPではなくRCPであるため、なぜRCPなのかを質問される。
- ・1℃の平均気温の上昇の説明がなかなかわかってもらいにくい。

〈要望〉

- ・市町村単位の情報があれば使いたい。
- ・都道府県版リーフレットも県内の天気予報区分ごとに情報があると関心をもってもらいたい。